

勉強できる子のママがやっていること

「孟母三遷」という故事をご存知ですか？

中国の思想家孟子の母親が、教育のために住居を3度も遷ったことに由来する故事です。

現代では、「教育には環境が大切である」という意味で使われています。

子育てには親御さんの意思と手助けが必要不可欠です。

勉強ができると言われる子ども達のお母さんがしていることをいっしょに見ていきましょう。

第2回

小学校入学前に教えること

(その1)

● 「字」に対する興味を持たせる

「わが家ではこんなことを教えている」という方針があり、しっかり幼児教育に取り組んでいらっしゃるご家庭では、あえてそれを変える必要はないと思います。

もし、今現在「何を教えたら良いのか分からない」と悩んでいるのであれば、まずは「字」を教えてあげてください。

大人になってしまうと、文字というものは簡単そうに見えて、読めて当たり前のように思えますが、小さな子どもにとっては、文字を覚えるという作業は大変根気のいる作業です。

実は、子どもにとっては「数字」のほうが覚えやすいのです。

なぜなら、数字の場合は1から10まで覚えるだけですし、算数の計算にはゲーム性がありますので、比較的退屈しないで覚えられます。

計算が当たっていたら、「当たった!」とか、「できるようになったね。すごいすごい!」と褒めてあげることで、子どもは楽しみながら覚えていきます。

一見難しそうですが、わりあい感覚的に覚えていけるのが数字なのです。

それに対して、「字」の場合は、その量だけでもたくさんあります。

字という概念を持たない子どもにとって、これを覚えるのはとても難しいことなのです。

それだけに、子どもにとって字が読めるようになるということは、非常に達成感のある経験であり、ものすごく大きな成長の第一ステップなのです。

心理学的な発達理論では、フロイトの「オマルにウンチができるようになるということが、最初の自立の達成経験だ」という説が有名です。

それまでは、オッパイをもらい、一方的に与えられるばかりの存在だったのが、トイレのトレーニングで初めて自立的なことができたことに、子どもがうれしさを感じるというのです。

心理学のことは深くはわかりませんが、子どもが何かをできるようになったと感じる経験は、とても重要だと思います。

その中でも、「自分で字が読めるようになった」ということは、非常に重要な意味を持っていると考えられています。

なぜなら、字が読めるようになると、子どもは「ある種の魔法」を手に入れたような感覚を持つからなのです。

● はじめは自分の名前から

文字の教え方には、50音全部を見せてひとつずつ読んで聞かせるなど、いろいろな方法がありますが、最初は、自分の名前から教えてあげると効果的です。

名前を声に出しながら、何度も字を見せているうちに、名前の文字のひとつひとつが、だんだんと分かってくるようになります。

その次に、「じゃあ、お母さんの名前は？」というように、変化を持たせていくと、お母さんの名前はこういう字だと少しずつ理解できるようになってきます。

そのうちに、名字は同じ音など、何となく分かっていくのです。

あとは順番に家族の名前を覚えさせるというのが一番スムーズな方法だと思います。

● 絵本を読み聞かせる

名前が読めるようになってきたら、絵本を見せながら、読んであげるようにすると、自然と字を覚えていくようになります。

この段階では、全部ひらがなで書かれている短い物語の絵本をたくさん読んであげると良いです。

実は、子どもの記憶力はすごいんです。

短い物語であれば、すぐに覚えてしまいます。字よりも先に、物語を覚えてしまうのです。

子どもの記憶のシステムは、字が読めるから物語を覚えるのではなく、物語を覚えた後に、字と音を一致させていくようになっています。

このメカニズムをフルに活用した、効果的な絵本の読み聞かせ法をお話します。

最初はお母さんがゆっくりと読みながら聞かせてあげます。

何回か聞かせてあげたら、「じゃあ、自分で読んでみようか」と言って、読ませてみます。

読めなかったら、またお母さんが読んで聞かせてあげます。

そうしていると、不思議なことに子どもたちは物語のほうをどんどん覚えていくのです。

そして、さかのぼるようにして、字と音を一致させていきます。

小学校入学前は、文字の数は1つでも2つでも良いので、「自分で字が読めた」という感覚を持ち、字に興味を持ってくれれば十分です。

ほとんどの子どもは、好奇心と学習欲旺盛ですから、興味さえわかれば、自然に身につけていくことになります。

どのぐらいの時期から絵本を読んであげると良いかということですが、ある程度言葉が話せるようになり、テレビで幼児番組などを見るようになってきたら、テレビと並行して絵本も読んで聞かせてあげるのが良いと思います。

テレビと同じくらい絵本も読んであげて、文字に対する関心も持たせてあげてください。

絵本を読んであげると、子どもはお母さんの愛情を感じるものです。

絵本の読み聞かせは、子どもの教育にとっても、お母さんとの関係作りにとっても、非常に良いことです。ぜひたくさん絵本を読んであげてくださいね。